

# 進路だより

令和4年2月9日（水）発行

## 今後の入試に関わる動きについて【重要】

私立高校の入試が来週に迫りました。また、来月には公立高校の検査日もあります。事前の準備や当日の動きについて、不明な点はないでしょうか。本号をよく読み、万全の状態当日を迎えましょう。

**私立高校の受験票は、10日（木）の帰り学活で配付します。**当日の時間や場所等は、各高校の募集要項にも記載されていますので、改めて確認してください。また、当初の情報と変更がある場合は、高校からお知らせをもらうと思いますので、その際は受験票と一緒にお渡しします。

私立入試の期間は、受験のある人もない人も、普段と異なる動きが生じます。自分のスケジュールをよく確認してください。

### 私立高等学校の入試に伴う学校の日程（どの日も給食はあります）

日付	おもな予定	中学校での動き	下校バス
14日 (月)	私立A下見	3時間目まで通常授業 その後給食⇒帰り学活・清掃・下校	麻生 13:10（優先） 栄町 13:10（優先）
15日 (火)	私立A①	A日程を受験しない生徒は登校 3時間給食	麻生 13:11（路線） 栄町 13:08（路線）
16日 (水)	私立A②	通常授業	麻生 16:20（優先） 栄町 16:20（優先）
17日 (木)	私立B下見	3時間給食	麻生 13:10（優先） 栄町 13:10（優先）
18日 (金)	私立B①	B日程を受験しない生徒は登校	麻生 13:11（路線） 栄町 13:08（路線）
19日 (土)	私立B②	土曜日なので登校なし。受験生徒は自宅から直接受験会場へ向かいます。	

### <私立高校の下見について>

各高校によって対応が異なります。募集要項の記載通りに下見を実施する高校もあれば、中止にする高校もあります。また、下見できる範囲が制限されている場合もあります。

下見が可能な場合は、事前に試験会場をチェックするとともに、受験当日の自分の動きをシミュレーションすることが大切です。自宅から受験会場までの経路や時間等を確認し、緊急事態が起こっても冷静に対応できることが望めます。また、試験会場まで入室できる場合は、自分の席と暖房との位置関係やトイレの場所、当日の注意事項や持ち物なども確認するようにしましょう。基本的に、各高校を試験会場とする場合は上靴が必要です。また、下見のときに受験当日の注意事項が伝えられる場合もありますので、メモ帳などの持参は必須です。

### 高校入試で面接試験がある生徒へ

私立入試でも公立入試でも、高校によっては面接による試験があります。面接の試験がある人は、自分から先生方に声をかけて、練習してもらいましょう。学活などで面接練習をする時間はありませんので、進んでお願いに行けるとよいですね。なお、集団面接の人には、どこかで一度集まってもらって練習を行う予定ですが、個別形式での練習も数多く行うとよいでしょう。

## 当日の高等学校への向かい方

自分の受検（受験）する高校へ、どのように行くのか経路をしっかりと確認しましょう。以下の表を参考に、必要な情報を事前に調べておくと、心に余裕をもって当日を迎えられると思います。

	私立A日程	私立B日程	公立入試
試験日			
学校名 (正式名称)	高等学校	高等学校	高等学校
所在地			
自宅からの 経路と時間	(    :    ) 自宅を出る ↓  ↓ (    :    ) 高校に到着	(    :    ) 自宅を出る ↓  ↓ (    :    ) 高校に到着	(    :    ) 自宅を出る ↓  ↓ (    :    ) 高校に到着
交通費 (片道)	円	円	円
その他 MEMO			

帰りの経路はどのようになっていますか。保護者の方ともしっかりと確認しておきましょう。

下見が可能として設定されている日に、受検（受験）する高校に行くことができます。下見が中止となった高校については、私立・公立含めて現地に行くことはできませんが、ほとんどの場合、敷地内に入ってはいけません。

下見は、中学校から直接、現地を確かめに行くこともできますし、一度、自宅に帰ってから上の表の内容を確かめながら現地に行くこともできます。出発地点から現地までの距離、時間などを考え、事前に保護者の方と下見のルートを確認しておきましょう。

## 下見のポイント

### ●下見の目的 = 試験会場を知る ⇒ 下見から入試は始まっている！

自分の家から試験会場まではどのような交通機関を利用するのか。どのくらいの時間がかかるのか。自分の座席はどこなのか。試験会場に入ったら、まずはどこに向かうべきなのか。トイレや保健室はどこなのか。初めての場所では、いろいろと知っていればいるほど落ち着くものです。そのためにも、下見は大切なものです（ただし、建物内に入れない場合もあります）。学校によって時間が違うこともありますので、よく確認して下見に向かいましょう。

#### ◆自宅から試験会場までの経路や時間等の確認

入試当日は、平日の朝の通勤時間となります。下見の時とは状況も異なります。なお、当日は、悪天候の場合も考慮し、余裕をもって行動するようにしてください。

※しかし、あまりにも早すぎる到着は開場まで屋外で待つことになってしまいます。注意しましょう。

#### ◆万一、公共交通機関が使用できなくなった場合の経路や手段の確認

悪天候や公共交通機関の遅延など、場合によっては、徒歩やタクシーの利用も考えられます。

\* 試験当日、公共交通機関が遅れた場合は、**遅延証明書の発行**をお願いしてください。

\* 試験当日、自家用車で高校に向かい、渋滞等で遅れた場合は、個人の責任となります。

友達と待ち合わせるなどせず、公共交通機関を利用するようにしてください。

#### ◆試験会場の確認

学校によって、校舎内には入れない場合もあります。できる範囲で教室の場所や座席、時計の有無、暖房の位置、トイレの場所などを確認してください。

#### ◆注意事項や持ち物の確認

受験生に対する注意事項や持ち物などについて、掲示物や配布物がある場合もあります。必要に応じてメモをとり、当日に備えてください。

#### ◆下見・入試当日に持っていくもの

**受験票**・生徒手帳・筆記用具・メモ帳・上靴（上靴を入れる袋）など

\* 特に持ち込み禁止品も含めてしっかりと確認してください。

計算機（時計型、ペンシル型を含む）、携帯電話（スマートフォンやPHSを含む）、英語辞書付時計等、ウェアラブル端末（スマートウォッチを含む。）等、入学試験の公正を損なうおそれのあるものの持ち込みはできません。

\* 試験会場によっては、上靴が不要な場合もあります。

#### ◆トラブルや公共のマナー

下見の時間は、各高等学校により異なります。場合によっては、授業を行っている場合もあります。指定の時間よりも早く行くことがないように気を付けてください。また、他校の受験生も多くいます。誤解を招くような言動やトラブルには、十分に注意してください。下見の帰りの時間も考えて行動しましょう。

## 当日に向けての注意点

○持ち物の用意をしっかりとしましょう ⇒ 基本的には、受験票に書いてあります。禁止品も確認しよう。

- 受験票
- 筆記用具 ~鉛筆なら5, 6本、シャープペンシルなら予備の芯を持って行く。  
消しゴムもいくつかあってもよい。 ※鉛筆削りは必要な人
- コンパス、定規 (分度器のついてないもの)
- 上靴
- 靴袋
- 昼食
- 時計 ~時刻を正確に合わせよう。 **計算機能や辞書機能付きは持って行かないこと!**
- 交通費等 ~万が一のためのタクシー代や、公衆電話を使用する時のために小銭を持って行くことが望ましい (**携帯電話等は持って行かないこと**)。
- 学習道具 (必要な物。あまり重くならないように。)
- 眼鏡 ~進路写真でかけていれば、かけるのが普通です。
- ハンカチ、ティッシュ**
- 生徒手帳 ~保護者の緊急連絡先など書いてあるとよい。

※前日のうちに、しっかり持ち物を確認し、受験(受検)に関係のないものを持ちこむことのないように注意しましょう。

○服装、身だしなみを整えましょう ⇒ 下見の時から完璧に。

- ・中学生らしい服装について理解し、実践すること。 **いざは普段(不断)なり**
- ※**「願書に貼る証明写真としてふさわしいか」という視点で自分を見つめ直そう!**
- ・ボタンなどを点検すること。
- ・清潔感を大切にできるとよいです。

○当日の朝には

- ・遅くとも、朝6時には起きるようにしましょう。
- ・朝食は必ず食べるようにしましょう。
- ・持ち物をもう一度点検し、焦ることのないようにしよう。
- ・朝のニュースや天気予報も確認できるとよいですね。
- ・時間に余裕をもって出発しよう(天候に応じて柔軟な対応が必要)。

○会場に向かう間には

- ・待ち合わせの時間に友人が現れないときは、、、**待たずに一人で行くこと!**
- ・忘れ物に気づいてしまったときは、、、**取りに戻らず、引き返さない!**  
⇒まずは高校に着くこと。到着後、高校の先生に申し出て指示を仰ぎます。
- ・交通機関が遅れてしまったときは、、、**遅延証明書などをもらい、可能なら中学校に連絡し、指示をあおぐこと。**

前日の夜には・・・

- ・早めに就寝しよう。何時に起きるか考えて、寝る時間も決めるとよいですね。
- ・眠れなくても、横になっていましょう(テレビや漫画、スマホなどは避けましょう)。
- ・前日に詰め込んで勉強することはやめましょう。 ~ここにきて難しい問題は解かない方がよい。  
~心おだやかに、自分をしっかりと休ませてあげましょうね~

## 試験会場における注意点

### ○試験会場に着いたら

- ・ 掲示物や注意書きをよく読むこと（諸連絡が書いてあることが多いです）。
- ・ トイレの位置を確認し、早めに行っておくこと。
- ・ 机などの状態を確認しておくこと。  
下敷きは原則使えません。机の中や机上も自分でしっかり点検すること。

### ○試験中について

- ・ 監督の先生の指示に従い、勝手な判断は厳に慎むこと。
- ・ 不正行為と疑われるような言動はしないこと。顔や目線を前方以外、向けない。
- ・ 指示があるまで、問題用紙や解答用紙には触れないこと（筆記用具も同様）。
- ・ 問題についての説明は静かに聞くこと。
- ・ 受験番号を間違ふことのないようにすること。
- ・ 具合が悪くなった時は、手を挙げて監督の先生に伝え、指示を仰ぐこと。
- ・ 試験中は落ち着いて解答すること ～問題全体をよく見て、できるところから取り組もう。
- ・ 早く解き終わっても、解答を見直し、最後まで努力を怠らないこと。  
（間違っても、周りを見るようなことや、寝てしまうことがないようにする）
- ・ 「テスト終了」の合図があったら、速やかに筆記用具を置き、解答をすぐやめること。指示があるまで、席を立ったり、私語をしたりしないこと。

### 勘違いは恐ろしい

- 記号で答えるものを言葉で答える。
- 傍線の部分について答えるのに、傍線のないところまで解答する。
- 「+」と「-」を書き間違ふ。
- 最も正しいものを選べとあるのに2つ書く。  
※問の形式にはいろいろあるが、「文中の言葉で答えよ」「文中の言葉を使って答えよ」「文から書き抜きなさい」では答え方が違う。細心の注意を！

### 文字はきれいに書くこと…くせ字・丸文字は厳禁！

- ひらがなの「い・り」「て・と」「れ・わ」の区別
- カタカナの「ア・マ」「ク・ワ」「シ・ツ」「ソ・ン」の区別。
- 数字の「1・7」「2・3」「6・0」の区別
- アルファベットの「C・G」「a・d」「h・n」「I・l・J」「p・q」「u・v」
- その他「2・z」  
※文字で書く場合「漢字で書きなさい」とあるのに「ひらがな」で書けば正解とはならない。誰でも読めるきちんとした文字を正しく書くこと。また、誤字を使っては、採点の対象にはならない。特に、文中の言葉で答える、書き抜くなどの場合は十分注意すること。

### 自分の実力が発揮しやすいものを一問一答、片付けて進む

- やさしい問題を残したり、難しい問題に時間をかけて、結局は解答を記入できなかつたりしては、せっかくの努力が無駄になる。あちらを半分、こちらを少しなどというやり方が一番いけない。

### 問題文をよく読む

- 「この問題は何を問うているのか」をよく考えること。そのためにも「問い」を2回は読んでみることをおすすめします。

### 乱雑な答えは書かないものと同じである

- 行が斜めになる。
- 解答が枠からはみ出す。
- 直線や円を定規やコンパスを使わないで描く。
- 消しゴムを使わない、使い方が雑で文字が読みにくい。
- 書いた後で、横に文字を補う、括弧書きで書いている、記号を付けて文字を挿入する。
- 5と5kg、5mは違う。単位の必要なものは、必ず単位をつけること。
- また文章では句読点を適切に使わなければ、意味が異なったものになる。

### 余った時間を有効に使う

- 念には念を入れ、最後まであきらめずに確かめてみる。特に、受験番号・名前・記号などは必ず再確認すること。
- 答えが間違っていると思っても、すぐに消してはいけない。正しい答えが思い浮かばないうちは訂正しないこと。消したとたんに終了の時刻になり、結局、消したものが正しい答えだったということもあり得る。

## ○休憩時間の過ごし方

- できるだけトイレに行っておきましょう。
- 休憩時間は、頭の休養と心の休養をとる大切な時間です。大声で話したり、ふざけたりすることは慎み、落ち着いた時間を過ごすこと。
- **前の試験の答え合わせより、次の教科の対策を練るようにしましょう。**
- 筆記用具は使いやすい状態か、次の試験で必要な物は何か考え、準備をしておきましょう。

### 試験が終わったら

試験が終わって気が緩んだ時こそ注意が必要です。これまでの学校行事などでも、同様のことを学んできたのではないのでしょうか。帰宅するまでトラブルのないように、注意して帰りましょう。せっかく手ごたえがあったのに、トラブルが起きて受験が台無しになることは避けたいものです。冬道ですから、交通事故にも気を付けなければなりませんし、他校生徒とのトラブルについても十分に注意すること。何より、まっすぐ家に帰り、寄り道などはないようにしましょう。

### 持ち物の準備について【確認】

持ち物については、進路説明会資料に記載の「受検者の持参すべきもの」を参考に用意しておいてください。計算機、携帯電話、辞書機能付時計、ウェアラブル端末（スマートウォッチなど）等、学力検査の公正を損なうおそれのあるものの持込みは認められていません。さらに、**漢字や英単語が書いてある文房具やティッシュ等も持ち込まない**よう徹底してほしいと公立高校から要望を受けていますので、注意してください。

何か不明な点等ありましたら、担任または進路担当（田口）へご連絡ください。

〔令和4年1月25日（火）発行『進路だより』第20号より抜粋〕

進路だより第20号で、試験当日の持ち物について上記のようにお知らせしました。この件について、どの程度の文字情報であれば問題ないのか、といった疑問が多数寄せられましたので、担任の先生から伝えてもらいました。その内容について、改めて確認してください。

- 現在、使い慣れている筆記用具でかまいません。社名や商品名程度が書いてある分には問題ないと思います。
- 例えば「太宰府天満宮」「湯島天満宮」などと掘られている鉛筆などは、公正を損なうおそれがあるため認められません。
- 漢字や英単語が書いてある場合で、過去には、高校側が一時預かったケースもあります。判断は、高校によって異なるので、万が一のことを考えて替えが効くもの（無地のシャーペンやえんぴつなど）を用意しておくと思います。
- ティッシュは、袋から取り出して、机の上に置いて良いかどうかを試験監督に必ず確認をとりましょう。
- 消しゴムについては、基本的に社名や商品名程度が書いてあるカバーを付けたままで問題はないかと思いますが、もし指摘されたらカバーを外して使用しましょう。